

# 第3次地域福祉活動計画案

## が決定



平成 26 年 3 月 12 日 (月) に第 5 回作業部会が開催されました。今回の作業部会では、計画の行動に加えて推進方法などについて議論し、約 1 年間かけて検討を重ねてきた計画案を決定しました。

今後は、この案をもとに策定委員会などを経て、平成 26 年 5 月には計画冊子が完成、6 月からは本格的な推進に入る予定です。

## 決定した計画案の内容

これまで各ワーキンググループごとに検討してきた「行動」が、各グループ3つの目標に対して4～5ずつの「行動」で決定しました。内容は以下の表のとおりです。

検討課題	行動の数	内容
高齢者がいきいきと暮らせるまちづくり	4	・ウォーキングによる健康づくり ・語り合いを通じた仲間、生きがいづくり ・孤立、閉じこもりがちな男性高齢者の社会参加促進 ・経験や知識、技術を活かす人材バンクで活躍の場づくり
障がいがあっても普通に暮らせるまちづくり	5	・障がい理解の促進を目的とした障がい者や家族によるお話し会や駄菓子屋さんの開設 ・発達障がい児の余暇、学習支援 ・災害に備える生活調査と見守り支援者づくり
安心して子どもを産み育てられるまちづくり	5	・思春期の子どもを抱える親同士が集い話し合うことで悩みや不安の解消につなげるサロンや塾の開催 ・子どもへの支援として学びの場、友達づくり ・冒険遊び場づくり
ふれあいにあふれた団地づくり	4	・誰もが気軽に参加できるイベントを通じた担い手の確保 ・団地住民同士が集える場づくり ・支え合いマップづくりなど災害に備える活動の支援 ・取り組みを守山区に中に広げる交流会の開催

決定した計画案について作業部会長からメッセージをいただきました

第3次地域福祉活動計画は、これまでの第1次計画、第2次計画と比べて親しみやすい「行動」の名称など、区民にとって敷居が低い計画となりました。  
今後、計画の推進にあたっては参加しやすさを念頭に置いて進められたら良いと思います。

金城学院大学人間科学部コミュニティ福祉学科  
教授 林 智樹 先生



## 計画のサブタイトルを決定

### 決定したサブタイトル

(理念) 誰もが安心して暮らせる“福祉のまち守山”

**～わたしから始まる助け合い～**

ワーキングメンバーのみなさまから募集した案やキーワードを元に事務局案を作成し、事務局案をたたき台として議論の上、最後は多数決によりサブタイトルを決定しました。